

スリッププリンタ TM-U590/U590P 設置マニュアル



400677005

ご使用前に

ご使用の際は、必ず「設置マニュアル」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
「設置マニュアル」は、不明な点をいつでも解決できるように、すぐ取り出して見られる場所に保管してください。

© セイコーエプソン株式会社 1996

安全にお使いいただくために

記号の意味

この設置マニュアル及び製品には、製品を安全に正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、以下の記号が使われています。
その意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。



警告：

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意：

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

安全上のご注意



警告：

- 煙が出たり、変なにおいや音がするなど異常状態のまま使用すると、火災・感電の恐れがあります。
すぐに電源スイッチを切り、電源コードをコンセントから抜き、販売店またはサービス窓口にご相談ください。
お客様による修理は危険ですから絶対おやめください。
- 分解や改造はしないでください。
けがや火災・感電の恐れがあります。
- 必ず指定されている電源をお使いください。
他の電源を使うと、火災・感電の恐れがあります。
- めれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。
感電の恐れがあります。
- 本製品の内部に異物を入れたり、落としたりしないでください。
火災・感電の恐れがあります。
- 万一、水などの液体が内部に入った場合は、すぐに電源スイッチを切り、電源コードをコンセントから抜き、販売店またはサービス窓口にご相談ください。
火災・感電の恐れがあります。

 **警告：**

- 電源コードのたこ足配線はしないでください。
火災の恐れがあります。
家庭用電源コンセント（交流100ボルト）から電源を直接取ってください。
- 電源コードの取り扱いには注意してください。
誤った取り扱いをすると火災・感電の恐れがあります。
 - ・電源コードを加工しない。
 - ・電源コードの上に重いものを乗せない。
 - ・無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしない。
 - ・熱器具の近くに配線しない。
 - ・電源プラグはホコリなどの異物が付着したまま差し込まない。
 - ・電源プラグは刃の根元まで確実に差し込む。電源コードが傷んだら、販売店またはサービス窓口に交換をご依頼ください。

 **注意：**

- 各種ケーブルは、設置マニュアルで指示されている以外の配線はしないでください。
誤った配線をする、故障や火災の恐れがあります。
- 不安定な場所（ぐらついた台の上や傾いた所など）に置かないでください。
落ちたり、倒れたりして、けがをする恐れがあります。
- 湿気やほこりの多い場所に置かないでください。
故障や火災・感電の恐れがあります。
- 本製品の上に乗ったり、重いものを置かないでください。
倒れたり、こわれたりしてけがをする恐れがあります。
- 本製品を長期間ご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
- プリンタに詰まった紙を取り除く場合、プリントヘッドには決して触れないでください。
プリントヘッドが低温となつてから作業を始めてください。
長時間印字後は、プリントヘッドが高温になっているのでやけど等の恐れがあります。
- 本製品の内部や周囲で可燃性ガスのスプレーを使用しないでください。
ガスが滞留して引火による火災などの原因となる恐れがあります。

電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会 (VCCI) の基準に基づくクラス A 情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

マニュアルの記号の見方について

本マニュアルでは以下の記号が使われています。それぞれの記号の意味をよく理解してから製品をご使用ください。



警告：

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意：

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。



注記：

製品の性能を維持するための必要な制限事項、および本製品の取り扱いについて有効な情報を示しています。

取り扱い上の注意

- 用紙は指定紙を使用してください。
- プリンタの汚れを除去する際には、アルコール、ベンジン、シンナー、トリクレン、ケトン系溶剤は使用しないでください。
プラスチックおよびゴム部品を変質、破損させる恐れがあります。
- プリンタを輸送する時または長時間プリンタを使用しない時は、輸送用ダンパーを取り付けてください。

モジュラータイプコネクタについて

本製品の裏のモジュラータイプコネクタ付近（ドローワーキックアウトコネクタ及びカスタマディスプレイコネクタ）には、次のような注意ラベルが貼ってあります。



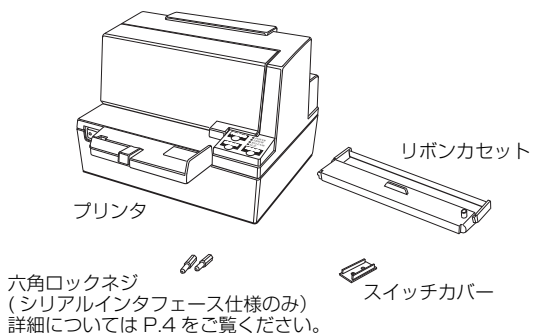
本製品は、キャッシュドローワー専用コネクタ、カスタマディスプレイ専用コネクタとして、モジュラータイプコネクタを使用しています。このコネクタには決して一般公衆回線などのコネクタを接続しないでください。



プリントヘッドが熱くなりますので注意して触らないようにして下さい。

1 開梱

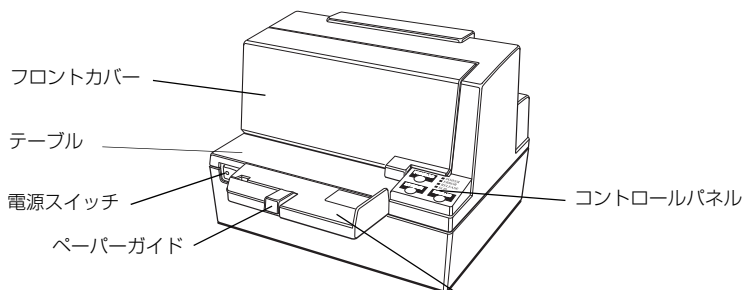
下記の同梱品は、標準仕様のものを示しています。



🔪 注記：

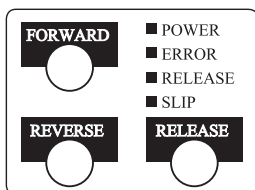
プリンタを持ち上げる時は、プリンタ底を持ってください。

2 各部の名称

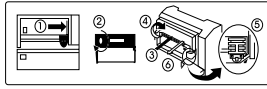


*ペーパーガイドは、使用する紙幅に合わせて、スライドさせてください。

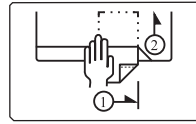
コントロールパネル



ラベル



カセットリボン設置ラベル
フロントカバー内



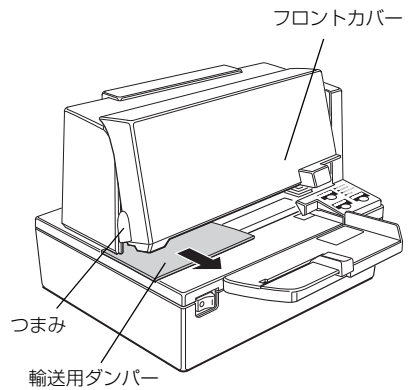
スリップラベル
ドキュメントテーブル上

3 輸送用ダンパーの取り外し

輸送用ダンパーは、プリンタを使用する前に取り外してください。

● 取り外し

1. フロントカバーのつまみを引き上げてカバーを開けてください。
2. ダンパーを取り外してください。
3. 他の梱包品と一緒に保管し、プリンタの輸送時に使用してください。



4 ケーブル、アース線、電源ユニットの接続

4つのケーブルを接続するコネクタパネルとアース線の接続場所 (FG と表示されています) は、プリンタ底にあります。

注記：

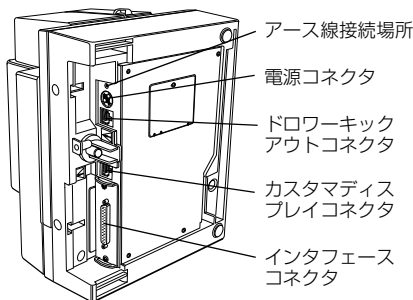
接続の前にプリンタ、コンピュータなど、接続するすべての機器の電源がオフであることを確認してください。

注記：

ドローキックアウトコネクタ、カスタマディスプレイコネクタ付近に、コーションラベルが貼られています。

注記：

取り付けられているインタフェースの形状によって、イラストと異なる場合があります。

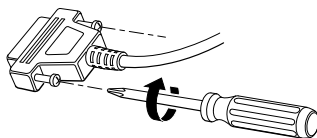



● インタフェースケーブルの接続

プリンタの仕様に合ったインタフェースケーブルをご用意ください。TM-U590 にはシリアルインタフェースケーブル、TM-U590P にはパラレルインタフェースケーブルが必要です。

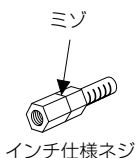
以下の手順に従ってインタフェースケーブルのコネクタを接続してください。

1. ケーブルのコネクタをプリンタのインタフェースコネクタに接続します。
2. シリアルインタフェースケーブルの場合は、ケーブルコネクタをネジで締め付けます。
3. ケーブルのもう片方のコネクタをコンピュータに接続します。



 **注記：**


TM-U590 プリンタにはインチ仕様の六角ロックネジが取り付けられています。必要に応じて同梱されているミリ仕様のネジと交換してください。ネジの交換には、5 mmのボックスドライバを使用して下さい。なお、インチ仕様とミリ仕様のネジは右図を参考にして見分けてください。



● **ドロワーキックケーブルの接続**

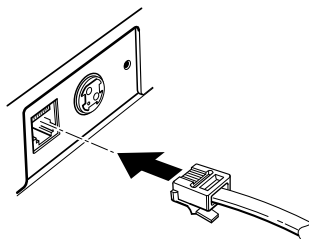
 **警告：**

プリンタの仕様にあったドロワーをご用意ください。
仕様に合わないものを使用すると、ドロワー内部のドロワーキックソレノイドなどが焼損し、火災の恐れがあります。また、同時にプリンタの故障の原因にもなります。

 **注意：**

電話回線をドロワーキックコネクタに接続しないでください。
電話回線およびプリンタの故障の原因となります。

- ・ ドロワーキックケーブルのコネクタをプリンタに接続します。



● **カスタマディスプレイケーブルの接続**

 **注意：**

カスタマディスプレイケーブルのコネクタを、電源コネクタの左側にあるドロワーキックケーブルのコネクタに間違えて接続しないでください。
コネクタおよびプリンタの故障の原因となります。

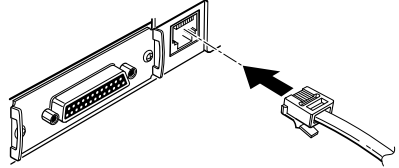
⚠ 注意：

電話回線をカスタマディスプレイのコネクタに接続しないでください。
電話回線およびプリンタの故障の原因となります。

- ・ カスタマディスプレイケーブルのコネクタをプリンタに接続します。

🔧 注記：

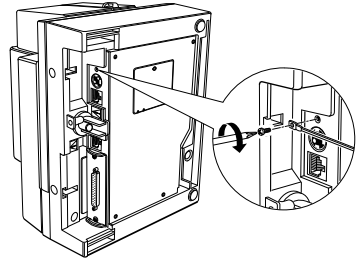
カスタマディスプレイは、シリアルインタフェースのみ使用できます。



● **アース線の接続**

お客様のシステムに合った長さのアース線をご用意ください。

- ・ アース線をプリンタ底のFGと示された場所に備え付けのネジで締め付けます。



● **電源ユニットの接続**

⚠ 警告：

電源ユニットには、セイコーエプソン製電源、PS-180(オプション)をご使用ください。

他の電源を使うと、火災・感電の恐れがあります。

⚠ 注意：

注意：

電源ユニットの DC ケーブルコネクタの取り付け、および取り外しは、必ず電源ユニットの電源プラグがコンセントから外れた状態で行なってください。

コンセントに差し込んだままで作業をすると、電源ユニットおよびプリンタが壊れる可能性があります。

⚠ 注意：

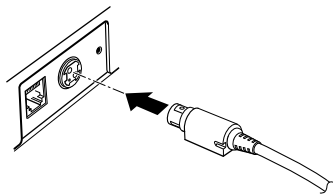
注意：

ご使用になる電源ユニットの定格が家庭用電源コンセントからの電源と異なる場合は、電源プラグをコンセントに差し込まずに、ディーラーにお問い合わせください。

万一差し込んだ場合、電源ユニットおよびプリンタが壊れる可能性があります。

接続

1. 電源ユニットの電源プラグがコンセントから外れていることを確認します。
2. 電源ユニットの DC ケーブルコネクタをプリンタに接続します。この時コネクタの平面の方を下に向けてください。
3. 電源ユニットの電源プラグをコンセントに差し込みます。



取り外しは次の手順で行なってください。

1. プリンタの電源スイッチをオフにします。
2. 電源ユニットの電源プラグをコンセントから抜き取ります。
3. コネクタ部を持ちながら、DC ケーブルコネクタを引き抜きます。

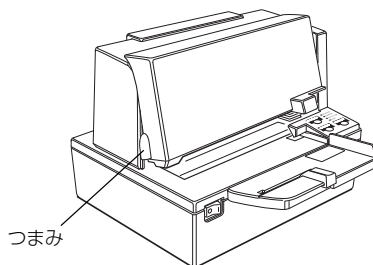
5 リボンカセットの取り付け・取り外し

注記：

リボンカセットは、セイコーエプソン製 ERC-31 をご使用ください。

● 取り付け

1. ホストから印字命令が来ていないことを確認し、電源をオンにしてからフロントカバーの左側のつまみを引き上げ、カバーを開きます。

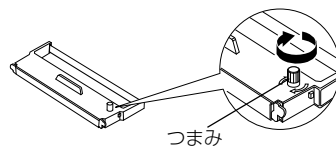


2. リボンカセットのつまみを2～3回まわして、リボンのたるみをとります。

注記：

リボンカセットのつまみは、矢印の反対方向には回さないでください。

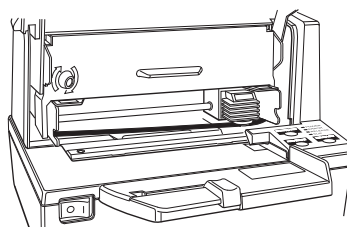
故障の原因となります。



3. プリントヘッドが右端の位置にあることを確認し、リボンカセットをプリンタにセットします。

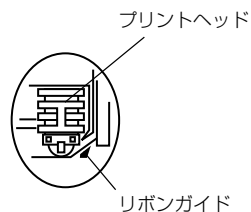
注記：

リボンがプリントヘッドの下にあることを確認してください（リボンが、リボンガイドの上を通るようにしてください）。また、リボンに折れや、しわがある場合は、もう一度入れ直してください。



4. もう一度リボンカセットのつまみを2～3回まわして、リボンのたるみを取ります。

5. フロントカバーを元に戻します。



6 電源スイッチカバーの取り付け

電源スイッチカバーは、必ず取り付ける必要はありません。この電源スイッチカバーを取り付けることによって、誤って電源スイッチを操作してしまうことを防ぐことができます。

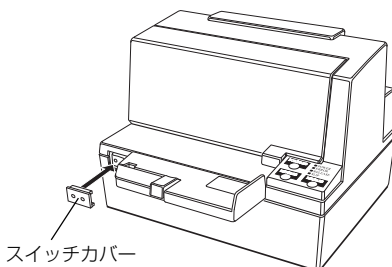
警告：

この電源スイッチカバーを取り付けた状態でプリンタに何らかの異常が生じたときは、すみやかに電源ユニットの電源プラグをコンセントから抜いてください。異常状態のまま使用すると、火災・感電の可能性があります。

電源スイッチカバーを図の向きに持ち、「カチ」という音がするまで押し込みます。

取り外しの際は、先の細いものを使って取り外します。

電源スイッチカバーにある穴に先の細いものを差し込むことによって、電源スイッチのオンまたは、オフを行うことができます。



7 セルフテスト（プリンタの動作確認テスト）の行い方

セルフテストの機能を使ってプリンタの動作を確認することができます。必ず行う必要はありませんが、プリンタが正しく動作するか確認するため、一度は実行することをおすすめします。

セルフテストを実行することによって、以下のプリンタの動作を確認します。

- ・ 制御回路の機能
- ・ プリンタメカニズムの機能
- ・ 印字品質
- ・ 制御 ROM バージョン
- ・ デイップスイッチの設定状態

● セルフテスト

1. フロントカバーが正しく閉じられているか、電源がオフになっているかを確認してください。
2. REVERSE ボタンを押しながら、電源スイッチをオンにします。SLIP LED が点滅したら、スリップ紙を挿入してください。

注記：

この時、セルフテストはプリンタの設定状態を印字します。

3. 再びスリップ紙を挿入すると、セルフテストはプリンタの内蔵フォントを使って印字テストを始めます。

注記：

印字テスト一時停止させたい場合は REVERSE ボタンを押します。一時停止を解除するには、もう一度 REVERSE ボタンを押します。

4. セルフテストは自動的に終了します。
5. *****completed***** と印字されるまでスリップ紙を挿入し続けます。セルフテスト終了後、プリンタは、コンピュータからの印字を行うことができます。

8 プリンタの操作

● 電源スイッチ

プリンタの電源をオン、オフします。

● 操作パネル

ボタン

FORWARD ボタン

紙送りをします。1回押すごとに1行の紙送りをします。連続的に紙送りをするには、このボタンを押し続けます。

REVERSE ボタン

逆方向紙送りをします。1回押すごとに1行の紙送りをします。連続的に紙送りをするには、このボタンを押し続けます。

REVERSE ボタンを押しながら電源スイッチをオンにすると、セルフテストを実行することができます。

RELEASE ボタン

スリップ紙を解除します。

インディケータ

POWER LED (緑)

プリンタの電源がオンの時、点灯します。

ERROR LED (赤)

プリンタが印字できない状態の時、点灯または点滅します。

次の場合に点灯します。

オフライン (FORWARD ボタン、REVERSE ボタンによる紙送り中およびセルフテスト実行中を除きます) の時。

次の場合に点滅します。

スリップ紙が紙詰まりを起こしている時。

この場合は、P.13の「紙詰まり」を参照してください。

上記以外の場合、一度プリンタをオフし、しばらくしてから再びプリンタをオンにしてみてください。それでも点滅している場合は、お買い求めのお店までお問い合わせください。

RELEASE LED (緑)

印字プラテンおよび紙送りローラが解除している時 (スリップ紙を挿入できる状態) 点灯します。


セルフテスト継続待ちの時、点滅します。

SLIP LED (緑)


消灯、点滅以外は常時点灯します。

スリップ挿入待ち、スリップ除去待ち、チェック挿入待ち (MICR 付きの場合) の時、点滅します。

9 スリップ紙のセット方法

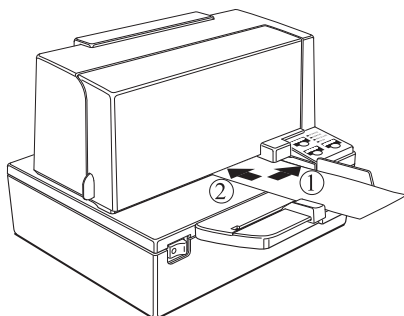
 **注記：**


スリップ紙はプリンタの仕様に合ったものをご使用ください。

 **注記：**


スリップ紙は折れ、しわ、曲りのないものをご使用ください。

1. コンピュータからプリンタへ、スリップ紙印字のための命令を送ります。
2. SLIP LED が点滅したら、スリップ紙を①紙挿入口の右端に合わせながら、②用紙先端がストッパに突き当たるまで差し込んでください。
3. スリップ用紙を検出すると、SLIP LED が点滅から点灯に変わり、スリップ紙が自動的に引き込まれ、印字が行われます。



 **注記：**

用紙検出後、用紙先端位置の検出のため、用紙が前後に動きます。

 **注記：**

用紙セット位置が規定位置にない場合、用紙先端位置検出のために時間がかかる場合があります。

4. 印字後、SLIP LED が点滅したら、スリップ紙を取り除きます。

10 紙詰まり



注意：

プリントヘッドに触れないでください。

長時間の印字後は、プリントヘッドが高温になっており、やけど等の危険があります。プリントヘッドが低温になってから作業を始めてください。

1. 電源をオフにし、フロントカバーを開けて、紙詰まりを取り除いてください。

11 ディップスイッチの確認・設定

下表をもとに設定変更が必要か確認してください。

シリアルインタフェース仕様

DIP スイッチ 1

SW	機能	ON	OFF
1	データ受信エラー	無視	'?' を印字
2	受信バッファ容量	69 バイト	4K バイト
3	ハンドシェイク	XON/XOFF	DTR/DSR
4	ビット長	7 bits	8 bits
5	パリティチェック	有り	無し
6	パリティ選択	偶数	奇数
7	ボーレイトの選択		
8	(右に示すボーレイトの選択を参照)		

ボーレイトの選択

転送速度 [BPS]	スイッチ番号	
	7	8
2400	ON	ON
4800	OFF	ON
9600	ON	OFF
19200	OFF	OFF

DIP スイッチ 2

SW	機能	ON	OFF
1	ハンドシェイクの動作 (BUSY となる条件)	受信バッファフル	オフラインもしくは 受信バッファフル
2	カスタマディスプレイ (DM-D) の接続	接続	未接続
3-5	未定義	-	
6	内部使用	OFF 固定	
7	# 6 ピンリセット信号	使用する	使用しない
8	# 25 ピンリセット信号	使用する	使用しない

🔑 注記：

RS-485 シリアルインタフェース仕様 (ディーラーオプション) では、ディップスイッチ 2-7 および 2-8 は無効となります。

パラレルインタフェース仕様

DIP スイッチ 1

SW	機能	ON	OFF
1	自動改行	常時有効	常時無効
2	受信バッファ容量	69 バイト	4K バイト
3-8	未定義	—	—

DIP スイッチ 2

SW	機能	ON	OFF
1	ハンドシェイクの動作 (BUSY となる条件)	・受信バッファフル ・データ読取中	・オフライン ・受信バッファフル ・データ読取中
2	予約	OFF 固定	
3-4	未定義	—	
5-7	予約	OFF 固定	
8	#31ピン リセット信号	ON 固定	

注記：

DIP スイッチ 2-2、2-5、2-6、2-7、2-8 の設定は変えないでください。

設定を変更する場合は、次の手順で行います。

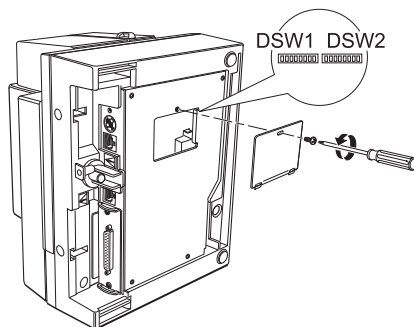
⚠ 注意：

ディップスイッチのフタを外すときは、プリンタの電源をオフにしてください。電源を入れたままで外すと、ショートなどにより、プリンタを故障させる可能性があります。

1. プリンタの電源がオフであることを確認します。
2. ネジを外し、プリンタ底のディップスイッチのフタを外します。
3. 先の細いものを使って、ディップスイッチの設定をします。
4. ディップスイッチのフタを取り付け、ネジで固定します。

🔧 注記：

新しい設定は、プリンタの電源をオンにしたときから有効になります。



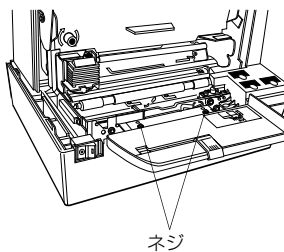
12 ペーパーガイドの取り外し

紙幅の広い用紙を使用する場合、ペーパーガイドを取り外すことをお勧めします。

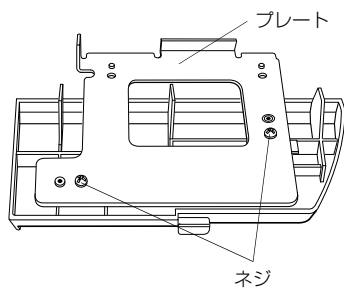
1. プリンタのフロントカバーの左側のつまみを引き上げ、カバーを開きます。
2. テーブルを、左方向にスライドさせ、取り外してください。
3. ネジを外し、ドキュメントテーブルをプリンタから取り外してください。

🔧 注記：

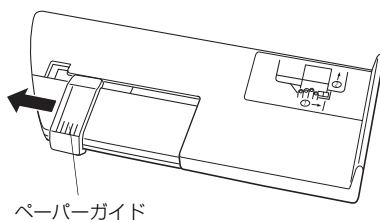
取り外したネジを、プリンタ内部に落とさないようにしてください。




4. ドキュメントテーブルの裏側のネジを外し、プレートを取り外します。



5. ペーパーガイドを、イラストのようにスライドさせてから、取り外します。



6. 再びプレートを取り付け、ドキュメントテーブルをプリンタに取り付けてください。

 **注記：**

ペーパーガイドは、設置マニュアルと一緒に保管してください。

Printed in China
1999.12